

2017.4

Vol.40

特集
地域へ
シリーズ
「米沢こころの病院」
日本精神科看護協会
開設に向けて
認定看護師

理念
・愛のある医療
・良識に基づいた医療
・公正、公平な医療

基本方針

1. 良質な医療の提供につとめます。
2. 患者さま、利用者さま中心の医療を行います。
3. 地域に立脚した医療を行います。
4. 安全で安心と満足の得られる医療を提供します。
5. 保健、医療、福祉の幅広い視点に立って健康を考えます。

就労継続支援B型事業所 公徳会 就労支援センター

山形県南陽市飼塚927番地
TEL／FAX▼0238-43-4322

公徳会では、南陽市と米沢市に就労継続支援B型事業所、「就労支援センター」を運営しています。

南陽市の就労支援センターは平成24年4月1日、米沢市の就労支援センターは平成28年11月1日に開設されました。

就労継続支援B型事業所とは、一般企業に就職することが難しい方や就労することで社会的な自立を目指す方に働く機会を提供すると共に、就労を通じて、その知識と能力の向上に必要な訓練を行う等、障がい福祉サービスの提供を目的とする、非雇用型の事業所です。

就労支援センターでは、『パン作業』、『ぶどう作業』、『洗濯作業』、『内職作業』の4つの作業を提供しています。（米沢は内職作業のみ）

作業日は、祝日を除く毎週月曜日から金曜日、作業時間は午前8時30分から午後5時までで、短時間からの利用も可能です。定員は、南陽の就労支援センターが40名、米沢は20名となっています。



これからも利用者様に働くことで得る達成感や喜びを提供できるよう支援していきます。

就労支援センターの利用には、「障害福祉サービス受給者証」の提示が必要となります。その他、詳細につきましては、利用ご希望の施設までお気軽にご連絡ください。

また、センターでの作業を通して、仕事に対する知識や能力が高まつた方には、関係機関と連携し、一般企業等への就労移行に向けた支援も行っています。

し、利用者様一人一人の目標に合わせた支援を幅広く提供しています。

パン作業

パンの製造と販売を行います。製造したパンは近隣の役場や施設等でも販売しています。

ぶどう作業

4月から11月まで公徳会のぶどう園（ふれあいファーム）にてぶどうの栽培作業を行います。冬期間は除雪作業を行います。

洗濯作業

公徳会施設で使用する洗濯物やパン作業で使用した白衣やプロンなどの洗濯、乾燥、アイロン掛け、センター内の掃除を行います。

内職作業

外部より委託を受け、車に使用される部品や医療器具の一部品の加工を行っています。

内職作業

外部より委託を受け、車に使用される部品や医療器具の一部品の加工を行っています。

④ 就労支援センター **米沢市**

- ・米沢駅東口側に位置し、近くには食品スーパーもあり、交通、買物の便が充実しています。
- ・施設近くには米沢駅前クリニックがあり、情報交換等、綿密な連携が図られています。
- ・主に、車の部品となるゴム製品のバリ取り等の作業を行っています。
- ・毎日10名程度の方が利用されています。



④ 就労支援センター **南陽市**

- ・佐藤病院の同一敷地内南側に位置しています。
- ・利用者様はグループホームの方やデイケア通所者様、ご自宅から通われている方など、様々な方がいらっしゃいます。
- ・各専門スタッフのもと、4種類の作業を行っています。



入居者様の個別の支援は、サービス管理責任者が入居者様の意見、希望、不安等の聞き取りを行い、個人の意思を尊重した個別支援計画を作成します。その計画をもとに指導員が支援を行い、入居者様が地域で落ち着いた生活をできる

くぬぎ荘は、自活能力があり共同生活を営むことに支障がない方に、住む場所の提供と食事の準備や生活に関する相談、助言等の支援を行っています。生活不安の軽減や身体、精神状態の安定が期待できる他に、孤立の防止にも繋がっています。日中はデイケアや就労支援センターなどをを利用して頂き、生活の場と区別したメリハリのある生活を送れるよう支援しています。地域活動にも力を入れ、スタッフと共にクリーン作戦など、地域のボランティア活動にも参加しています。



中心に、くぬぎ荘家族会を発足しました。家族同士や、職員との情報交換で悩みを共有する機会も増え、より一層連携を強めています。入居者様が地域で自立し、安心して暮らせるように、寄り添った支援を継続していきます。

くぬぎ荘

くぬぎ荘事務所

山形県南陽市桜塚928
TEL ▶ 0238-40-3401
FAX ▶ 0238-40-5988

よう体制を整えています。また、月2回訪問看護を受けることで体調管理も行っています。

地域活動支援センター・指定相談支援事業所 ライフサポートとまり木

名が常勤で勤務しています。



活動内容は、主にパソコン教室、喫茶店（模擬接客）、自立を促すための支援として、就労支援、生活支援ではシャワー、洗濯機、乾燥機等の使用機会の提供、余暇活動の支援及びグループ活動として、外出レクやカラオケ、食事支援、居場所の提供など、利用者さまが自ら必要な支援を選択し、活動で生きるよう支援しています。また、障がい者への理解を深めてもらいため、地域交流の一環として、とまり木祭、地域のボランティアによるいけ花教室や小物作り教室、陶芸教室も開催しています。



指定相談支援事業所は、相談支援専門員が、障がい者の生活に関する様々な問題（服薬、金銭管理、対人関係、公的手続き、不安、孤独感の悩み事等）について、障がい者や家族、関係者の相談に応じ、必要な情報提供、調整を行います。

地域活動支援センターは、置賜地域の三市五町（南陽市、高畠町、川西町、米沢市、長井市、飯豊町、白鷹町、小国町）から委託を受け、地域で生活する精神障がい者等の生活支援、日常的な相談への対応や地域交流活動などをを行うことにより、社会復帰と自立、社会参加の促進を図る目的で設立されました。精神保健福祉士、指導員の3

ライフサポートとまり木は、障害者総合支援法（障がい者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律）に基づく施設で、地域活動支援センターI型と指定相談支援事業所の事業を行っています。



地域活動支援センターは、置賜地域の三市五町（南陽市、高畠町、川西町、米沢市、長井市、飯豊町、白鷹町、小国町）から委託を受け、地域で生活する精神障がい者等の生活支援、日常的な相談への対応や地域交流活動などをを行うことにより、社会復帰と自立、社会参加の促進を図る目的で設立されました。精神保健福祉士、指導員の3

山形県南陽市柄塚929
TEL ▶ 0238-40-4055
FAX ▶ 0238-40-40580



特集

厚生労働大臣認定施設 健康増進施設 メディカル フィットネス スマイル

山形県南陽市鶴塚1180-5
TEL ▼0238-40-3686



現在は健康運動指導士を含む9名のスタッフが、日常生活の一部に運動」を取り入れられます。



メディカルフィットネススマイルは厚生労働大臣認定の指定運動療法施設で、平成16年4月にオープンしました。ご利用者様に合わせた医学的なサポートに基づく適度な運動やその人に適した健康作りの機会を提供しています。

よう、健康作りをサポートしています。
一般コースとメディカルコースの2種類があり、一般コースは18歳以上の方ならどなたでもご利用頂けます。メディカルコースは併設されたクリニックを受診し、医師の診断のもと、運動を行うコースです。主に糖尿病・高脂血症・高血圧・肥満など生活習慣病の予防や改善したい方々が対象になります。どちらのコースもご利用には入会手続きが必要です。

営業時間は平日（ただし水曜は休館）、土曜が10時から21時、日曜と祝日が10時から17時までです。（但し土曜、日曜、祝日は12時30分から13時30分まで休館）

（但し土曜、日曜、祝日は12時30分から13時30分まで休館）

現在は健康運動指導士を含む9名のスタッフが、日常生活の一部に運動」を取り入れられます。



毎月第4水曜日には健康教室も開催しておりますので、運動を通して健康を見直したいところです。



保育時間は平日、児童の下校後から午後6時まで、第1・3・5の土曜保育時は午前8時半から午後5時までです。夏休み等の長期休暇や

性・創造性を養うとともに、保護者の子育てを支援し、その子ども達の健全な育成を図ることを目的としています。子ども達は学校からまっすぐ施設に帰り、宿題やいろいろな遊びをして過ごします。

毎月一回、ボランティアの方による読み聞かせがあり、他にも誕生日会と避難訓練を行っています。誕生会では頑張りたいことやお友達からの質問に答えたりして楽しく過ごしています。避難訓練では毎月の訓練の他に年一回、消防署から來ていただきて起震車による地震を体験します。その後の講話で、地震や火災時の心構えや常日頃の訓練の重要性、命の大切さを教えていただきます。

春は遠足、夏は七夕まつりやプール遊び、秋は焼き芋、冬はクリスマス会や団子下げ、豆まきなど四季折々の行事を楽しんでいます。

宮内学童保育施設



宮内学童保育は、放課後などにおいて保護者の労働、疾病その他の理由により適切な保育を受けられない宮内小学校の1年生から6年生までの児童を対象にお預かりし、保育する施設です。

早朝・延長保育も行っています。8時半までと午後6時から午前8時半までと午後6時から午前8時半までです。



毎月の訓練の他に年一回、消防署から来ていただきて起震車による地震を体験します。その後の講話で、地震や火災時の心構えや常日頃の訓練の重要性、命の大切さを教えていただきます。

春は遠足、夏は七夕まつりやプール遊び、秋は焼き芋、冬はクリスマス会や団子下げ、豆まきなど四季折々の行事を楽しんでいます。

米沢こころの病院

開設に向けて

6月1日オープン

「米沢こころの病院」は4月下旬までに工事全体の99%超まで進み、各機械設備等の試運転を経て、建築基準法・消防法検査を全クリアし、5月9日の完成引渡を迎えます。医療法の病院使用前検査後「病院使用許可」を受け、そして厚生局の「医療機関指定」を取得し、いよいよオープンです。

医療法の病院使用前検査後「病院使用許可」を受け、そして厚生局の「医療機関指定」を取得し、いよいよオープンです。

米沢こころの病院・建物内部

外来棟 1F エリア①

「外来棟」は、建物（1F）北側（敷地入口側）に位置します。外来受付・待合室・薬局は「外来エリア」の中央寄りに設けました。周囲に診察室・検査室を配置し利用しやすくしています。診察室は3診体制が可能な配備をしています。

入院（救急）玄関からは救急外来診察が行えるよう専門の診察室・処置室を設置しています。厨房は「外来エリア」西側にあり、入院「108床」分の食事と、平成29年度計画整備予定の精神科デイケア「50名定員」分の食事を提供します。

管理棟 2F エリア②

「管理棟」は、外来棟の上階に位置し、スタッフ使用の休憩室・会議室、図書室などを設けています。また、医局もこのエリアにあります。

第1病棟 1F エリア③

「第1病棟」は1階建物南側に位置し、個室「24室」、4人部屋「6室」の48床の病棟です。（解放エリア27床、閉鎖エリア21床）この病棟は平成30年度から「精神科救急入院料算定病棟」基準を取得する計画で、7月の運用開始から1年間の精神科救急統計期間に入ります。前段階の平成29年度は「精神科急性期治療病棟」（試行期間4ヶ月）基準を取得運用する予定です。

第2病棟 2F エリア④

「第2病棟」は第1病棟の上階に位置し、個室「16室」、4人部屋「11室」の60床の病棟です。（解放エリア37床、閉鎖エリア23床）この第2病棟は、病院開設時（6月）より運用開始し、7月より「精神療養病棟」（試行期間1ヶ月）基準を取得運用する予定です。

【バス停】アルカディア (米沢こころの病院前) 新設

米沢市民バス（万世線）の「アルカディア地内」経由運行が、「6月1日」より開始になります。

病院敷地入り口付近・歩道沿いに【バス停】・「アルカディア（米沢こころの病院前）」が新設され、午前・午後それぞれ往復2便の発着となります。

（※尚、運行詳細は、米沢市民バス時刻表（万世線）をご覧下さい）

米沢こころの病院・運用概要

①診療科目

▶精神科、心療内科、児童精神科、老年精神科
※外来は、「専門外来」を組み入れての診療を予定しています。

②運用開始

平成29年6月1日～
▶外来診療・第2病棟【60床】（2F）
平成29年7月1日～
▶第1病棟【48床】（1F）

※全病棟の運用開始が、当初計画より早くなります。





▶ 電子カルテ導入について

総務部IT室 室長 安部直樹

1 電子カルテとは

電子カルテとは文字通り、従来紙で記録していたカルテを電子情報として記載記録するシステムのことです。

検査結果、処方、画像、医事システムの指示連携を図るオーダリングシステムも含めたシステムになります。

厚生労働省でも医療機関のICT化推進を掲げておりますが、電子カルテの普及率はまだ高いと言えない状況です。特に精神科においては精神保健福祉法による様々な入院形態や、精神療法、心理面接などアナログの情報量も多く、なによりも患者様との直接的なやりとりがパソコンに向かう事で損なわれるのでという懸念から「精神科」における電子カルテ導入は難しいと考えられています。

また導入にあたり大きなコストも懸念材料のひとつとされています。



2 導入目的

左記のような理由から当法人では電子カルテの導入はまだ見いだせなかったため、独自に『公徳会患者情報システム』を開発し、部門部署間による情報の共有を図ってまいりました。

しかし当法人は現在、2病院、2診療所、且つ周辺施設が多岐にわたり、病院及び施設利用者数も年々増え続け、昨今では入院期間は短縮する一方であり、その結果、法人で扱う情報は膨大なものになっていきました。

独自開発した『公徳会患者情報システム』では情報の共有化には活用されているものの、あくまで補助的な要因が強く、カルテにも記載した内容をシステムにも入力するといった業務の煩雑化にも繋がっていました。

また、ここ数年では他病院で電子カルテを経験している医師、職員数も増えており、電子カルテ化を望む声も増えておりました。

3 取り組み

そこで当法人の現状を把握し、電子カルテ導入も視野に入れた「電子カルテ導入検討委員会」を昨年2月に発足し、協議の末、佐藤病院、米沢駅前クリニック、トータルヘルスクリニックの3か所への電子カルテ導入を決定いたしました。

導入にあたり、精神科向け電子カルテを開発しているベンダー数社によるデモ及び実績を考慮した結果、ベータソフト社の「アルファ」に決定し、昨年8月にキックオフミーティングを行い、約6か月間稼働に向け取り組んでまいりました。



4 現状

導入し数か月ということもあり、未だ操作に慣れない部分も見られるのが現状で、患者さまにはご迷惑をおかけしている部分もあるかと思います。しかしながら導入を機に各部署の業務の見直しが図られ、結果的に業務体制を再検討する事ができました。また他部署でのカルテ記載内容も必要な時に自由に閲覧できるため、部署間で統一した情報を持つことができ、安定したサービスが提供できるものと考えております。



電子カルテは国が掲げる地域医療構想においても、一端を担うものと考えております。当法人としても地域の中核的精神科病院としての役目を果たすべく、今後も安全で質の高いサービスを提供できるよう取り組んでまいります。

高齢者と栄養について

佐藤病院第6病棟 島 貫 美智子



精神科看護師として勤務し、早いもので17年という歳月がたちました。法人の協力を経て精神科認定看護師という資格を取得し、老年期精神障害看護を専門領域として活動させていただいている。2013年（平成25年）6月、国内の認知症の人がすでに462万人になり、認知症予備軍である「軽度認知障害」と呼ばれる人も400万人いるという調査結果が、厚生労働省の研究班から報告されました。認知症と認知症予備軍の人を合わせると、850万人を超えていきます。65歳以上の4人に1人が、認知症か認知症予備軍にたるということになります。高齢化社会といわれ久しい世の中ですが、私が新人として勤務した頃に比べて、法人内の様相もそうした

社会情勢の中で大きく変化してきました。高齢者の入院は年々増加しており、こうした方々を取り囲む環境を目の当たりにし看護のあり方にについて日々考えさせられています。

入院にいたる高齢者は、心の健康状態が問題になるだけでなく、その多くに身体の健康状態も悪化しているケースも多くあります。飽食の時代なのに低栄養（栄養不足）。一見健康そうに見えて高齢世代でこんな矛盾した健康状態の方が増えています。高齢者の低栄養とは小食でたんぱく質、脂質、鉄分やカルシウム、葉酸、ビタミン類なども不足している状態です。

国内では現在65歳以上の2～3割が低栄養の傾向にあるといわれ警鐘が鳴らされています。メタボリック症候群にも注意が必要ですが、小食・粗食であれば大丈夫ということでもないのです。高齢者の栄養状態は認知症の発症リスクとも関係するとされており、大豆・大豆製品、野菜、海藻、牛乳・乳製品、果物、魚、卵などを多めに食べる人ほど認知症の発症リスクは最大約4割減少するという結果

があります。中でも、一日に100～200gの牛乳・乳製品を取っている人の認知症発症率が、ほとんど取っていない人と比べ、約3割低いことが明らかになっていました。（久山町研究）

高齢化が進む日本では、誰が認知になつてもおかしくありません。高齢になれば誰もが認知症になる可能性があります。その予防法・治療法については現在もさまざま。高齢になれば誰もが認知症になる可能性があります。その予防法・治療法については現在もさまざま。そこですが、食事は毎日のことです。日頃の食生活を見直しバランスの取れた食生活を意識し、心身ともに健康で長生きを目指していただけたらと感じます。



できるだけ毎日食べたい食品類

1 | 肉

2 | 魚介類

3 | 卵

4 | 大豆・大豆製品

5 | 牛乳・乳製品

6 | 緑黄色野菜

7 | 海藻類

8 | イモ

9 | 果物

10 | 油を使った料理

より良い環境作りのために

若宮病院事務部



若宮病院

事務部は、現在8名の職員で構成され、総務・労務関係、施設管理関係に従事する職員と医事業務に従事する医事課の職員が所属しています。

事務部全体として、受付業務、電話対応、来院者の案内、入院患者様の小遣い管理、施設設備・物品備品等の管理、取引先様との交渉、苦情対応、労務管理、医局秘書業務など、事務業務全般から他部署に属さない業務まで、多岐にわたりる業務を担当しています。

病院に入つて最初に出合う顔が「受付」です。患者様やご家族様が安心できる、不安を和らげる、明るく笑顔で丁寧な対応をモットーにしています。

窓口では様々なご意見を頂くこともあります。また、患者様の具合が悪くなったり、他にも色々な問題が発生することもあります。

ます。その状況にいち早く気付き、初動対応に当たる機会が多いのも事務部です。問題の解決には、周りの職員や他の部署と協力しながら、最善の対応が出来るよう努めています。

医事課では、主に医療費の保険請求のために必要な書類（レセプト）を作成し、請求するまでの一連の業務を行っています。一連の業務と一言で言うことは簡単ですが、この業務を行うためには医療や薬、様々な知識が必要です。医事業務は、病院の経営にも直結する非常に重要な業務の1つです。

他にも、窓口での会計業務や入院時の説明なども担当しています。

施設内の管理もしていますので、電気が切れました”“トイレの水が流れません”“コピー用紙がなくなりました”など、病院内やデイケア



ます。その後、窓口での会計業務や入院時の説明なども担当しています。



施設内の管理もしていますので、電気が切れました”“トイレの水が流れません”“コピー用紙がなくなりました”など、病院内やデイケア



平成29年度 新入職員入職式

今年度の入



事長より「今年6月の『米沢こころの病院』開設に向けてたくさん皆様に、しかも優秀なスタッフに入職して頂き大変うれしく思っています。チーム医療・福祉の実践が重要と言われているように、自分の組織の中だけでなく社会とのつながりを知るとともに、業務面でも内外との連携を大事にして下さい。自分の仕事に役立ててください。常に広い視野で世の中を見て感じ

取る感性を養つていってください。皆さんの今後の成長を期待します」との励ましの言葉がありました。

これを受けて、新入職員代表の小田朝暉さん（佐藤病院作業療法室）が、「皆様のご指導、ご助言を頂きながら、一刻も早く当たり前のことを当たり前にできるよう、最大限努力します。」との力強い決意表明をしました。

地域活動支援部・就労支援センターなどの各職種から計18部署、さらに特別発表として佐藤病院の渡部亮先生の講演がありました。だわり、皆で協力して制作しました。今年は例年以上の来場者ということもあり、たくさんの方に楽しかったこと・工夫したことなどから得られました。各職種ならではの鋭い視点から、学びを深め、さらに質の高い医療・介護を追求する内容でした。各職種ならではの鋭い視点から、学びを深め、さらに質の高い医療・介護を追求する内容でした。各職種ならではの鋭い視点から、学びを深め、さらに質の高い医療・介護を追求する内容でした。各職種ならではの鋭い視点から、学びを深め、さらに質の高い医療・介護を追求する内容でした。

平成28年度 公徳会研究発表会



3月5日(日)に、平成28年度公徳会研究発表会が南陽市民会館ホールにて開催されました。280名を超える職員の参加があり、法人内の佐藤病院・若宮病院・米沢駅前クリニック・ドミール南陽・

今回の学びを、患者さまによりよい形で還元していきたいと考えています。

雪灯籠制作に 今年も参加

2月11、12日に第40回上杉雪灯籠まつりが開催されました。今年は米沢駅前クリニックと佐藤病院が参加し、協同で雪灯籠を2基制作しました。1月までは降雪量が少なく、制作できるか心配でしたが、2月初めのまとまった降雪により、無事に制作することが出来



40号の表紙 —芍薬— (シャクヤク)

牡丹が「花王」と呼ばれるのに対し、芍薬は花の宰相、「花相」と呼ばれる。ボタンが樹木であるのに対して、シャクヤクは草本である。そのため、冬には地上部が枯れてしまい休眠する。花も美しく、中国の宋代には育種が始まつた。江戸時代には「茶花」として鑑賞され、品種改良も行われた古典園芸植物でもある。また熊本藩では武士の素養として園芸を重視、奨励されたことから、特に六種類が盛んに栽培・育種された。花の形は「一重咲き」「八重咲き」「翁咲き」などがある。株分けで増やすことが一般的である。

※ウイキペディアより抜粋



宮内学童保育 入所式開催

公徳会宮内学童保育施設入所式が4月3日に開催され、新一年生22名をはじめ24名の元気な子供たちが仲間入りをしました。式では、ご来賓を代表して、この春、新たに宮内小学校に着任された、淀野秀樹校長先生より、小学校の入学式より一足早く、お祝いの言葉を頂きました。その後、新一年生は、保護者と記念撮影とDVD観賞（平成28年度学童生活の記録）、保護者の皆さん入所説明会に参加されました。

南陽市の要請を受けて平成21年4月にオープンした南陽市で初の民設民営方式の当学童保育施設は、9年目を児童69名（職員6名）でスタートしました。



【第一回バリエンテ フットサル交流大会】 の開催



2月11日(土)に若宮病院フットサルチーム「バリエンテ山形」と支援者との共催で「第一回バリエンテフットサル交流大会」を山形県立保健医療大学体育館にて開催しました。大会には県立こころの医療センターのチーム「オーロヴァツタ鶴岡」、医療系の学校や一般のチームなど、計6チームが参加しました。当日は観戦者も含め約70名以上の方が集まり、各チーム熱戦を繰り広げました。結果は、「オーロヴァツタ鶴岡」が優勝、「バリエンテ山形」は堂々の3位という成績でした。4年前、数名のデイケア利用者から始めたこのチームも、練習を積み重ねて努力し、真剣勝負が出来るたくましいチークになりました。今後も交流大会の開催を予定していますので、次回の大会こそは優勝カップを狙おうと、決意を新たにしました。

看護師・介護福祉士・ケアワーカー・理学療法士等募集 29年6月 米沢こころの病院オープン

■募集職種／看護師・介護福祉士・ケアワーカー・

薬剤師・精神保健福祉士・作業療法士・
看護学生等

■給与／当法人規定、経験者優遇

■勤務地／佐藤病院（南陽市）、若宮病院（山形市）、
米沢こころの病院（米沢市、29年6月オープン）

■勤務時間／日勤 8:30~17:00

※看護師の勤務形態は2交代制と3交代制の混合

■休日／完全週休二日制・夏期・冬期・創立記念日

■待遇／昇給年1回、賞与年2回、各種保険完備、

退職金制度有（2年以上勤務）、各種手当有、
院内保育所完備

（米沢こころの病院にも併設予定）

■応募方法／電話連絡の上、履歴書（写真貼付）を郵送ください。

【施設見学】 随時電話で受付しておりますので、下記までご連絡ください

公徳会・人事部人事担当 ☎0238-40-3170、内線2102



外来受付時間・担当医師予定 (4/3~)

【佐藤病院】

	月	火	水	木	金	土	日
午前 8:30~11:30	佐藤・沼田	御供・竹内・計見	佐藤・武吉	沼田・文	竹内・渡部		
午後 3:00~4:30	尾形	御供・大土	岩本	中尾	中尾・安田		
専予 門約 外来制	午前 8:30~11:30				齋藤(卓)(隔週)・須山(隔週) (児童思春期)		
	午後 2:00~4:00	沼田 (アルコール)			御供 (もの忘れ) ※第2週目は休診	齋藤(卓)(隔週) 須山(隔週) (児童思春期)	

【若宮病院】

	月	火	水	木	金	土	日
午前 8:30~11:30	奥山	阿部(詔)・澤村	長谷川・日向	山本・池田	日向・澤村・奥山	長谷川・文	
午後 1:30~4:30	日向・山本	阿部(淳)(第1・3・5週) ・櫻井(第2・4週)	奥山・池田			澤村	
専予 門約 外来制	午前 8:30~11:30	長谷川 (うつ)	成重 (児童思春期)	成重 (児童思春期)			
	午後 1:30~4:30	成重 (児童思春期)	成重 (児童思春期)	山本 (アルコール)	阿部(詔) (もの忘れ)		

【米沢駅前クリニック】

	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00~11:30	御供・大土	中尾・安田	大土・渡部	竹内・武吉	沼田・尾形	玉垣+当番医※第5週目は休診	
午後 3:00~4:30	文	岩本	中尾		佐藤		
専門外来 予約制 午前 9:00~11:30					須山(第2・4週) (児童思春期)		

【トータルヘルスクリニック】

	月	火	水	木	金	土	日
午前 8:30~11:30	川合	川合	川合	柏倉	川合		
内科 予約制 午後 2:30~4:00		川合					
歯科 予約制 午前 9:00~11:30 午後 1:30~4:30	笠原	笠原	笠原	笠原	笠原		

※各施設担当医師については変更する場合もありますのでご了承ください。

※診療及び、各種お手続等に関するご相談・お問い合わせは佐藤病院**医療福祉相談室(TEL.0238-40-3170)**

もしくは若宮病院**医療福祉相談室(TEL.023-643-8222)**にて受けいたします。

診療情報 (平成28年度)

【佐藤病院】

	1月	2月	3月	平均
外来件数 (一般外来)	1日平均	75.6	73.6	77.2
(うち、時間外外来受診件数)	月件数	15	11	16
入院者数【総ベッド数222床】	1日平均	208.3	205	206.3
入院件数	月件数	46	49	64
(うち、措置・応急入院件数)	月件数	4	2	1
退院件数	月件数	52	46	59
平均在院日数		131.8	120.8	104.0
(うち、救急病棟平均在院日数)		71.5	68	66.2
				68.6

【若宮病院】

	1月	2月	3月	平均
外来件数 (一般外来)	1日平均	72.5	75.3	77.3
(うち、時間外外来受診件数)	月件数	11	13	12.3
入院者数【総ベッド数165床】	1日平均	160.8	158.3	150.1
入院件数	月件数	23	28	31
(うち、措置・応急入院件数)	月件数	0	3	1
退院件数	月件数	23	34	31
平均在院日数		216.7	161.1	165.5
(うち、救急病棟平均在院日数)		80.6	73.8	69.8
				74.7



記載内容につきまして、ご意見・ご質問・ご感想等ございましたら、下記までご連絡ください。

公徳会 広報誌

平成29年4月16日発行

製作 社会医療法人 公徳会
編集 公徳会広報委員会

〒999-2221 山形県南陽市押塙948-1

TEL.0238-40-3170 / FAX.0238-43-2076

✉ sato-hp@koutoku.or.jp 🌐 http://www.koutoku.or.jp

こうとく No.40